

架け橋

鹿屋市教育委員会
—未来を生きる子どもたちのために挑戦する—

- この号の内容 ■
- 教育長あいさつ ● 教育委員紹介
- 教育委員会だよりの目的
- 各課紹介 ● R4年度のトピック

未来を担う心豊かでたくましい人づくり

子どもたちが生きる未来は、高齢化や過疎化などの課題がある一方、経済や科学技術等の分野において国家間でしのぎを削る「競争」と、感染症や環境問題等に国際的に協調して取り組む「共存」が同時に求められています。

このような状況を踏まえ、子どもたちに、豊かに生きる力や世界の人たちとコミュニケーションを図りながら競争・共存する力、多様性の理解や生涯にわたって学び続ける力などを育むため、本市では「未来を担う心豊かでたくましい人づくり」を教育の基本理念に掲げました。

この理念を実現するため、学校教育では、「主体的・対話的で深い学び」やICTの活用など新しい教育と、これまで学校や教職員が積み上げてきた経験や優れたノウハウを「ベストミックス」することが大切だと考えています。

今後とも、地域の方々との共同経営をめざす学校（コミュニティー・スクール）とすべての小中学校で中学校区ごとの小中一貫教育を土台に、心豊かでたくましいグローバル人材の育成など、よりよい教育を展開してまいります。



教育長 中野 健作



教育長職務代理者
藁田 繼男

海道町で野菜の種まきから栽培管理、収穫、加工、販売までの六次産業の仕事をしています。おいしい野菜は適期に水と肥培管理が大切です。児童生徒が夢を持ち叶えるには教育環境が必須です。一緒に考えてみませんか。

教育委員

児童・生徒が、正解の無い社会で、他人の人権を尊重し、主体的に考え、悩み、仲間と楽しく協力し合いながら、問題解決出来る様、ジェンダーの視点から意見し、自らも成長したいと考えております。

委員
早川 雅子



委員
遠矢 達一

大学院を修了して鹿屋へ帰郷し31年目です。令和4年2月より委員になりました。広く社会の常識や住民のニーズを施策に適切に反映されるよう、機会あるごとに研修会や研究協議会等へ参加していきたいと思っております。

半世紀を過ぎた年齢で中学生2人、高校生2人の一男三女の母親です。親として、大人として、未来を担う子どものために何が出来、何をしないといけないのか。その声を教育行政に届け、反映されると有難いです。

委員
東別府 睦



より身近に

教育委員会だよりは、市の特色ある教育や学校の取組を市民の皆様にご覧いただくため創刊いたしました。愛称には教育委員会をより身近に感じていただくための、「架け橋」になればという願いが込められています。今後も皆さまに教育委員会から様々な情報を発信いたします。

教育総務課

教育総務課は教育委員会の主に「調整役」として委員会全体の総合的な調整や進行管理を担当しています。また、定期的に教育委員会定例会を開催し、教育行政における重要事項等を協議、決定しています。その他、職員及び学校職員の人事・服務に関することや、教育財産の管理、学校の施設・設備の整備及び営繕に関することなど、子どもたちにとってより良い教育環境となるよう努めています。

教育委員会とは…

地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置されています。



学校教育課



学校教育課は学校教育全般にわたる業務を担当し、4つの係りで役割を分担しています。

例えば、児童の転入・転出や学区外申請の手続きなど学籍に関する業務は「学務係」が担当しています。

また、校長・教頭・教諭等の教職員の人事(学校配置・評価)や、服務に関する指導を「教職員係」が担当しています。

さらに、「学校教育係」は学校経営をはじめとする、教職員向けの各種研修企画・運営や指導・助言を行っています。特に指導主事は定期的に学校を訪問し、学校の課題の解決に向けた取組を行っています。

最後に、給食や学校保健に関する業務を「保健給食係」が担当し、給食センターと学校との連携を図っています。

生涯学習課

生涯学習課は生涯学習・社会教育の推進並びに文化振興を担当しています。学習情報・学習機会の提供や、学習成果活用の環境づくりなどに努め、生涯学習の推進を図ります。

生涯学習とは…「いつでも」「どこでも」「だれでも」生涯を通じ、自ら主体的に行う学習

社会教育とは…学校の教育課程以外の教育活動で、主として青少年及び成人に対して行われる教育

○中央公民館：市内の全17学習施設の管理を行い、実生活に即した講座や芸術・文化に関する事業により、市民一人ひとりの学びを大切にするとともに、学びの成果を適切に生かすことの出来る社会実現を目指します。

○文化財センター：市内の文化財に関する業務を行っており、文化財保護審議会に関すること、埋蔵文化財の発掘調査に関すること、指定文化財に関すること、文化財の保護活用及び周知に関することなどを行い、文化財の保存、伝承、活用を推進しています。家庭教育、青少年教育、成人教育、人権教育など、生涯学習課では、これらを充実させるよう努めています。



かのや市電子図書館



▲かのや市電子図書館サイトトップ

注目！ 県内初導入のサービス

- 児童書読み放題パック（100冊）・・・講談社「青い鳥文庫」が人数制限なしで読める
- 雑誌読み放題（139タイトル）・・・同時に20人まで様々なジャンルの雑誌が読み放題
- （市内小・中学生限定）学校図書館の図書利用カードでも貸出できる（最大4冊）



かのや市電子図書館
トップページ

鹿屋市は令和4年10月1日（土）から【かのや市電子図書館】サービスを始めました。
電子図書館では、インターネットにつないだパソコン、スマートフォン、タブレット端末を使ってデジタルで作成した電子書籍をいつでも、どこでも、だれでも本を「探す」「借りる」「読む」「返す」ことができます。

サービス開始！

| | | | |
|------|----------------|--------|------|
| 貸出冊数 | 2冊 小・中学生は4冊 | 貸出期間 | 15日間 |
| 予約冊数 | 2冊 | 予約取置期間 | 5日間 |

KOKA (コカ) プロジェクト -Kanoya Original Kodomokai Association-

子ども会は、人づくり・地域づくりの観点から欠かすことのできない重要なもので、子どもの健全育成に大変有意義であることから、鹿屋市の子どもたち全員の参加（100%加入）を目指しています。子ども会について全ての市民に関心を持ってもらい、子ども会の活性化を図るため、「KOKAプロジェクト」を推進しています。全員参加のための方策と子ども会活動の再構築（魅力あふれる未来型活動づくり）について検討し、具体的に取組を進めています。

地域の異年齢集団における子ども会の様々な体験活動等とおして、「地域の希望」である子どもたちを地域のみんで育てていきたいと思います。

鹿屋寺子屋事業

公民館・地区学習センター等や自治公民館等を活用して、学び合う楽しさと郷土愛を育むために、週1回の学習活動と月1回程度の体験活動を行っています。

「自分で学ぶ」を基本に、その活動を指導員（地域の協力者等）が支援し、高い教育力をもつ地域づくりと安心して子育てできるまちづくりを目指しています。

【児童や指導員の感想】

- ・今日は宿題が早く終わりました。先生に字がきれいと言われて嬉しかったです。（児童）
- ・トマトの成長を絵や写真や文章で記録することは、収穫だけでなく学習にもつながるよい体験です。（指導員）

地域の子ともは地域で育てよう



▲寺子屋の様子

鹿屋市英語教育圏推進会議

小学校1年生からの
英語教育を支える組織

表に示す学校組織を中心に、各英語教育圏1区～5区に、「話すこと（発表）」「話すこと（やり取り）」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」の5つの「領域別研究テーマ」を設定し、小・中学校での相互授業参観や指導改善に向けた研修会等を各英語教育圏で年間4回以上設定しています。

※文部科学省教育課程特例校指定

| 区 | 事務局校 | 事務局校 | 教育圏小学校 | 教育圏中学校（高校） |
|---|------|-------|-------------------|---------------|
| 1 | 鹿屋小 | 鹿屋中 | 祓川、東原、高隈、大黒 | 鹿屋・高隈 |
| 2 | 寿北小 | 鹿屋東中 | 寿、笠野原 | 鹿屋東 |
| 3 | 西原小 | 第一鹿屋中 | 西原台、野里、花岡 | 第一・花岡（女子高校） |
| 4 | 田崎小 | 田崎中 | 大始良、西俣、南、下名、鶴峰、吾平 | 田崎・大始良・吾平 |
| 5 | 細山田小 | 上小原中 | 串良、上小原、輝北 | 上小原・串良・細山田・輝北 |

グローバル・イングリッシュ・デイキャンプ

学校の学びを実践！

各英語圏の公民館等で、子ども会を中心とし、地域に暮らす外国人やALTの「おもてなし」イングリッシュ・デイキャンプを年7回実施しています。地球規模で世界の問題を考え、郷土の魅力を生かして、能動的に課題解決していくグローバル人材の育成は、「英語のまち鹿屋」の目指す目標です。



▲今坂南子ども会：紙相撲大会開催でおもてなし（親子で参加）

国立台北教育大学の教育実習生受け入れ

台湾から将来英語の先生を目指す学生の教育実習を鹿屋女子高校で受け入れています。帰国後も、時差1時間を生かして、遠隔授業を実施し、英語でのコミュニケーションの機会として交流を重ねていきます。今後は、ホームステイ等の人的交流に繋げる準備を進めています。



▲教育実習開始式
先生も学ぶ！

学力向上に向けた取り組み

児童生徒の学力向上に向け、研究公開や各種セミナー・管理職研修会など、年間を通して計画的に研修を企画し、多くの教員が参加しています。指導主事の学校訪問では、学校経営方針に対する助言や、先生方の授業参観をとおして児童生徒の学びの充実を図っています。特に、校内研修では各教科の専門の指導主事が教科の本質に迫る指導を行っています。

with コロナの教育活動

新型コロナウイルス感染症の流行がなかなか収まらない状況ですが、市内の各学校では対策をしっかりと講じたうえで、学校行事を行っています。

特に、秋季運動会では、Zoomによる観戦などの感染対策と同時に、熱中症対策として競技を止めて定期的な給水を設ける、といったプログラムを工夫して取り組みました。児童生徒にとってかけがえのない教育活動を単に中止とするのではなく、安全に実施するために様々な工夫をしています。



▲秋季運動会の様子



鹿屋市教育委員会ではTwitterを活用して、イベント情報や学校活動などの情報発信も行っています。ぜひご覧ください。たくさんのフォローお待ちしております！

